

事務局だより

平成31年3月1日
第 4 号
岩手県学校保健会
養護教諭部会事務局発行

東日本大震災支援対策委員会

東日本大震災に係る会員の皆さまの現状伺いのまとめ

全会員に「東日本大震災に係る会員の皆さまの現状伺い」への協力をお願いしたところ、多くの方から回答を得られました。感謝申し上げます。

今回お寄せいただいた声をまとめましたので報告いたします。

回答いただいた総数は170人（昨年度197人）、そのうち困り感があると回答した方は40人でした。（沿岸25人、内陸15人）

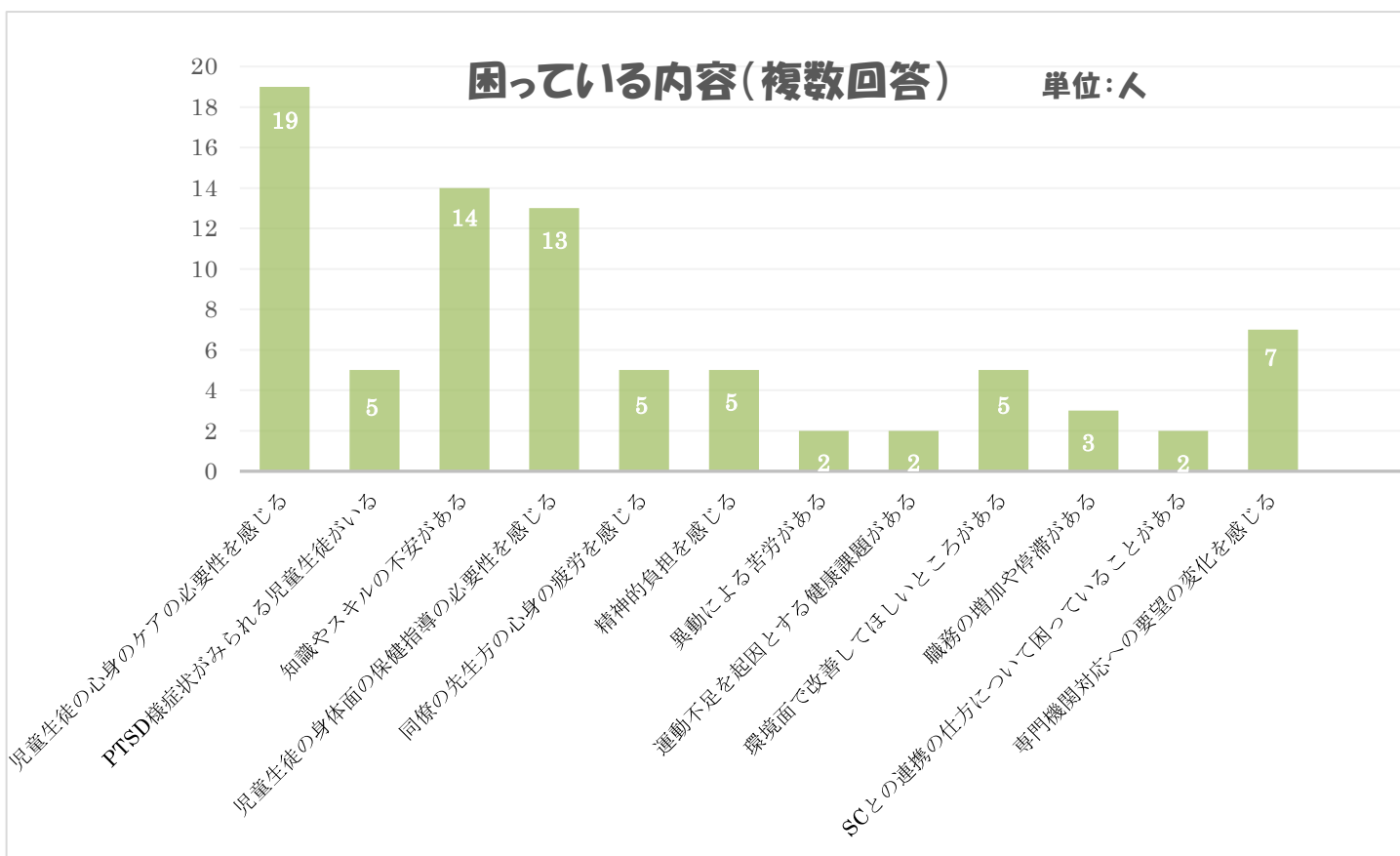
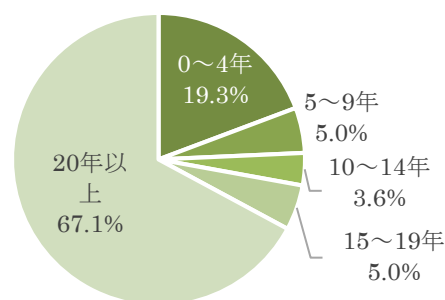
「困っていることがある」と回答した人の経験年数は右の円グラフの通りです。

困っている内容として多く挙げられたのは「児童生徒の心身のケアの必要性を感じる」「知識やスキルの不安がある」「児童生徒の身体面の保健指導の必要性を感じる」の項目です。

「児童生徒の心身のケアの必要性を感じる」は4年連続で1番多く挙げられた項目でした。

「知識やスキルの不安がある」は、昨年度は内陸に比べ沿岸地区で多く挙げられたのですが、今年度は内陸・沿岸の差がありませんでした。また、「児童生徒の身体面の保健指導の必要性を感じる」は昨年引き続き沿岸地区で多く挙げられました。（沿岸12人、内陸1人）

経験年数



【困っていることの具体的内容】

★沿岸の方から★

- ・スクールカウンセラーや教職員の加配がなくなるかもしれないという不安がある。
- ・震災を風化させたくない。

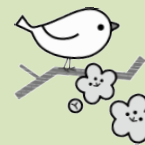
★内陸の方から★

- ・沿岸から内陸に転校してきた生徒が最近になり、震災当時のことを話すようになった。何年経ってもそのような生徒はいるのではないか。相談しやすい「開かれた保健室」を作っていく必要があると改めて感じた。

東日本大震災支援対策委員会は、今年度をもって活動を終了することになります。

会員の皆様、今までご協力ありがとうございました。

東日本大震災支援対策委員会の活動終了にあたり、8年間の活動のまとめを「研究集録・部会誌ようご岩手」に、活動の記録を「部会 HP ようご岩手」に掲載致します。



(文責：東日本大震災支援対策委員 前田)

2019・2020年度「研修係」募集

【対象】

盛岡・雫石・滝沢・矢巾・紫波地区の 小学校、中学校、県・市・私立

【募集人数】

1名 (任期は原則2年)

【研修係の役割について】

- ・総務部が担当する「実践研究に関する研修会」の推進に関わる仕事をお願いします。
- ・会議は年間3～4回程度行います。
- ・県養護教諭研究大会でも総務部員としてお手伝いいただいています。

【応募方法】

地区理事から配信される「『研修係』応募 FAX 送信票」で、下記まで送信してください。

送信先

盛岡市立河北小学校 石川 千賀子
(県学校保健会養護教諭部会 事務局長)
TEL 019-623-9244
FAX 019-623-9245

【応募締切】 平成31年3月25日(月) ※添書不要